

認知症の人を理解し、支えたい
～カフェ「からふる」立ち上げから、
今日まで～

NPO法人 キッチン・るぱ

玉名市包括支援センター

本日の内容

ある一人の認知症の人との出会いから
認知症カフェ立ち上げに至るまでの経緯と
NPO法人キッチンるぱのメンバーの思いを
お伝えし、
認知症カフェの存在について改めて考えてみ
たいと思います。

玉名市の概要



人口 : 67,577人
高齢者人口 : 21,233人
高齢化率 : 31.42%
介護認定者 : 4,587人
認定率 : 21.23%

- 熊本県北西部に位置し、南北約16km、東西約15km、面積152km²
- 一級河川菊池川の河口に広がる玉名平野を有す
- 西に有明海、北に小岱山を臨み、豊かな自然に恵まれている
- 産業面は、米、野菜、果物等の農産物、海苔などの水産物の生産が盛んである
- 平成17年1市3町が合併
- 日本マラソンの父、金栗四三の生誕の地

玉名市の認知症支援

- * 平成21年度より モデル事業受託



- * 平成24年度より
玉名市認知症支援事業として
- * 平成25年10月～
認知症地域支援推進員2名設置

玉名市の認知症支援

- * 認知症サポーター養成講座(約年50回)
- * キャラバン・メイト養成講座(これまで3回開催)
- * キャラバン・メイトフォローアップ研修(1回/年)
- * たまな認知症応援団養成講座(1回/年・全4回)
- * たまな認知症応援団フォローアップ研修(1回/年)
- * たまな認知症応援団活動活性化(中学校区ごと・6校区)
- * 認知症介護者のつどい(1回/月)
- * オレンジ広場～早期発見から予防まで～
(タッチパネル体験他)
- * 認知症カフェ(現在3ヶ所)

認知症カフェ設置に向けて

* 試みとして

平成25年度

認知症介護者のつどいにおいて、

○イベント(お花見・音楽会・ボランティアグループ)開催

*地域密着型サービス事業所の地域交流スペース等
を活用して

NPO法人キッチン・るぱ 相馬さんから

「認知症カフェをやってみようと思っ
てるんだけど・・・

どうしたらいいのかな？」

認知症カフェ開催まで

- * 認知症サポーター養成講座開催

参加者： 15 名

NPO法人メンバー

カフェるりゅーる常連さんなど

- * 認知症カフェとは・・・再勉強

認知症カフェ開催まで

- * カフェの名称の決定
 - * 開催時間検討
 - * 参加費・飲み物代の決定
 - * 食事提供についての検討
 - * ロゴ作成
 - * 看板作成
 - * スタッフ役割分担の検討
 - * 開催スタート日決定
 - * 初回内容の検討
- (イベント協力者へ依頼)

などなど

認知症カフェ開催まで

- * 周知方法の検討・準備
市広報、社協広報、チラシなど
- * チラシ作成
- * 参加費領収書、飲み物チケット作成
- * 開催当日の駐車場確保のための、近隣への協力依頼

カフェ「からふる」

- * 開催日 ・・ 毎月第2日曜日
- * 開催時間 ・・ 13:00～15:00
- * 内容 ・・ 参加者によって内容変更あり
(句会、演奏会、歌を唄う、雑談など)

「カフェからみる」オーフン！！

「認知症カフェ」とは…

認知症の人とその家族（介護者）が気軽に集うことができる場所です。

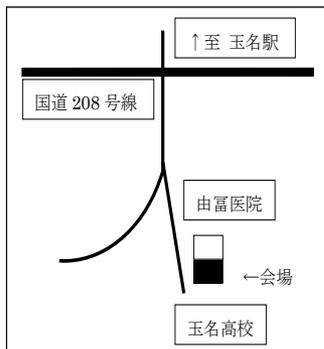
認知症の人の社会参加や地域の人との交流の場となったり、家族には介護の負担軽減や介護不安の解消などができる場です。

日時：2月7日（日）10時～15時

**場所：BOOK&カフェ るりゆうーる
（玉名市中1835-1：由富医院そば）**

**開催を記念して、ギターと歌を
披露していただきます！**

参加費（会場代） 1人100円



* 飲食物の持ち込み自由です。

* コーヒーや紅茶、番茶などの飲料は有料で提供しています。

コーヒー・紅茶…100円 お茶…50円

* 認知症に対する相談・対応できるスタッフがいます。
お気軽にご参加ください。

* 地域の皆様のご参加もお待ちしています。

* 駐車は由富医院をお願いします。（数に限りがあります。
スタッフの指示にて駐車ください。）

【問い合わせ先】

- ・NPO 法人キッチンるば
TEL：82-7585
- ・玉名市包括支援センター
TEL：71-0285

認知症カフェ立ち上げまで

- * NPO法人キッチンるぱ立ち上げ

「Repas」ルパ：フランス語で「食事」

- * Aさんとの出会い

- * Aさんとの関わり

認知症カフェ立ち上げへ

- * Aさんの変化
- * 本との出会い
- * 包括支援センターへの連絡
- * 認知症サポーター養成講座

認知症カフェ立ち上げへ

- * Aさんの変化
- * 本との出会い
- * 包括支援センターへの連絡
- * 認知症サポーター養成講座

認知症カフェ立ち上げへの思い

- * 認知症の理解
- * 対応はどうしたらよかったのか
- * 自分に何かできることはないのか

今、思うこと

* Aさんの今

* 認知症カフェをはじめて

認知症カフェ 開催しながら

- 開催時間の再検討
- カフェ参加者の目的に応じた対応
- 参加者向けの認知症カフェ周知用チラシ
作り

など

これからの課題

* 参加される方のニーズにどう答えるのか

* キャラバン・メイト、たまな認知症応援団の関わり



* 誰もが参加しやすいカフェへ

認知症カフェ立ち上げに関わって

認知症の人をとりまく人たち・環境
をコーディネート